



令和8年8月24日
北九州市環境局

報道機関各位

国内初!!

「PPA モデル^{※1}」による フィルム型ペロブスカイト太陽電池^{※2}の社会実装に向けた事業開始 ～次世代型太陽電池で地域の脱炭素化を加速!!～

北九州市は、西部ガステクノソリューション株式会社(本社:福岡市東区、代表取締役社長:新飼 秀利)及び株式会社北九州パワー(本社:北九州市小倉北区、代表取締役社長:富高 紳夫)と連携し、「フィルム型ペロブスカイト太陽電池」を、市立中学校の体育館に導入します。「フィルム型ペロブスカイト太陽電池」を第三者所有方式(以下、「PPA モデル」)の仕組みを用いて公共施設へ導入するのは**国内初の取組**です。

本取組は、3者共同で環境省の令和8年度「ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業^{※3}」に提案し、このたび採択されたものです。

軽量で柔軟性があるといった特徴を持つ次世代型太陽電池「フィルム型ペロブスカイト太陽電池」を公共施設へ導入することで、新たな再生可能エネルギー導入モデルの構築と、ペロブスカイト太陽電池の社会実装につなげます。

北九州市は引き続き、企業と連携して次世代技術等を活用し、再生可能エネルギーの導入拡大と地域の脱炭素化を加速して参ります。

【事業概要】

導入施設	北九州市立横代中学校(小倉南区横代北町3丁目5番1号)
導入規模	10.56kW
補助事業期間	令和8年8月～令和9年1月(予定、令和9年1月設置予定)
代表事業者	西部ガステクノソリューション株式会社 ※PPA を活用した補助申請は、所有者である企業が代表事業者
共同事業者	北九州市、株式会社北九州パワー



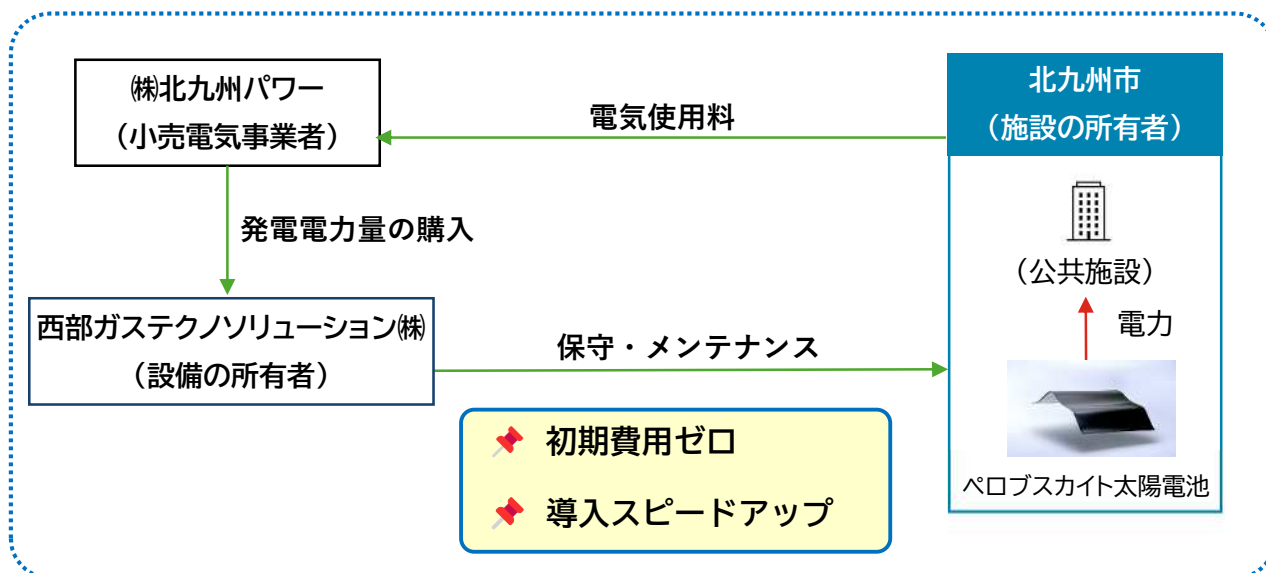
北九州市立横代中学校



体育館屋根設置イメージ図

【※1 北九州 PPA モデル(第三者所有方式)(下図参照)】

北九州市、西部ガステクノソリューション、北九州パワーが連携し、PPAによるペロブスカイト太陽電池を活用した国内初の再エネ供給体制を確立します。第三者所有方式を採用しているため、自治体にとって課題であった初期投資をゼロに抑えることが可能となり、次世代型太陽電池の導入をスピードアップさせます。



【※2 フィルム型ペロブスカイト太陽電池】



フィルム型ペロブスカイト太陽電池
積水ソーラーフィルム(株)提供

- ✓薄型・軽量・曲げられるため、従来のシリコン型パネルでは設置が困難だった耐荷重の低い屋根や建物の壁面など、多様な場所への設置が可能
- ✓主原料のヨウ素は日本が世界シェアの約3割を占めており、国産の次世代太陽電池として、期待されている

【※3 令和8年度「ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業」

環境省 HP:https://www.env.go.jp/press/press_05166.html

参考:西部ガステクノソリューション株式会社プレスリリース(別紙)

<問い合わせ先>

環境局再生可能エネルギー導入推進課

電話 093-582-2238 担当 玉井、安川